

学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

<大阪芸術大学通信教育部規程（抜粋）>

第3章 教育課程及び履修方法

（授業科目）

第9条 通信教育部の授業科目は、総合教育科目、共通専門科目及び専門科目に分け、4年次にわたって配当する。

2. 前項に定める授業科目の種類、名称、単位数については、別表1の通りとする。
3. 学生は、他学科の専門科目を履修することができる。
4. 学生は、本学通学課程で開講している授業を、12単位まで履修することができる。

（授業）

第10条 授業は、通信授業及び面接授業により行う。

（通信授業）

第11条 通信授業は、教材の頒布、質疑応答、報告課題に対する学習報告並びにこれに対する添削指導その他の方法によって行う。

2. 教材は、教科書、学習指導書及び補助教材とする。
3. 教科書は履修計画に応じて頒布する。教科書には必要に応じて学習指導書を付する。
4. 学習活動を補助し、一般教養を高め本学精神を普及するため、補助教材として、定期的に機関紙を発行する。
5. 通信授業に関する質疑は、所定の質問票によって行わなければならない。
6. 通信授業においては、学生は所定の報告課題について学習報告を1単位につき1通を提出し、添削指導を受けなければならない。

（面接授業）

第12条 学生は、面接授業において、30単位以上を修得しなければならない。

2. 面接授業は、本学の校舎及びそれに準ずる施設で行う対面スクーリング又はメディアを利用して行う双方向型の遠隔授業（メディアスクーリング）で実施する。
3. 面接授業の実施細目については、その都度公示する。

第13条 本学の校舎・施設又は全国各地の適当な場所において、課外の講義及び学習指導を行うことがある。

（卒業の要件）

第14条 通信教育部を卒業するためには、4年以上在学し、別に定める履修方法に従って計124単位以上を修得しなければならない。但し、30単位以上は、面接授業によって修得しなければならない。

（試験）

第17条 授業科目の単位の認定は試験による。

2. 試験は、本学の校舎・施設又は本学指定の場所において実施する。
3. 試験の日時及び場所については、その都度公示する。
4. 授業科目によっては、レポート提出、作品提出をもって試験に代えることがある。

（試験の方法）

第18条 試験は、通信授業試験及び面接授業試験又は実技とする。但し、授業科目によってはレポート、作品等の提出をもって筆記又は実技に代えることができる。

2. 試験の実施等に関するその他の規程は、別に定める。

(受験資格)

第19条 所定の授業料を納入し、かつ、第20条及び第21条の規程に該当すると認められた者でなければ、試験を受けることができない。

(通信授業試験)

第20条 通信授業試験を受けるためには、第11条第6項の学習報告を1通以上提出し、規定の成績を収めていなければならない。

(面接授業試験)

第21条 面接授業試験を受けるためには、一定期間、面接授業に出席していなければならない。

(試験の評点)

第22条 試験の成績は100点をもって満点とし、60点以上をもって合格とする。
その評点は次の通りとする。

100点～80点 優

79点～70点 良

69点～60点 可

59点以下 不可

(単位の授与)

第23条 履修科目に課せられた所定の学習を終え、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2. 前項の規定により、与える単位の認定時期は、毎学期末とする。

3. 試験に不合格の場合は、再試験を受けることができる。

第4章 卒業及び学位授与

(卒業の認定)

第26条 第14条に定める卒業要件を満たした者は、通信教育部運営委員会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2. 卒業の認定時期は、毎学期末とする。

(学士の学位)

第27条 卒業を認定した者には、卒業証書・学位記を授け、学士(芸術)の学位を授与する。
但し、初等芸術教育学科については学士(芸術教育)の学位を授与する。

2. 学位及びその授与等については、別に定める。

附 則

本規程は、令和8年4月1日から改定実施する。

I. 卒業要件 (正科生)

1. 卒業要件

本通信教育部に4年以上(3年次編入学生は2年以上、2年次編入学生は3年以上)在学し、所定の方法により124単位以上(認定単位を含む)を修得した者に卒業を認め、卒業生には学士(芸術)の学位を授与します。各学科・コースの卒業所要単位は下表「2. 卒業所要単位表」のとおりです。
 なお、詳細は「II. 総合教育科目」「III. 共通専門科目」「IV. 専門科目」の各科目表を参照してください。

2. 卒業所要単位表

学 科	系列科目	総合教育科目	共通専門科目	専門科目		自由選択	卒業所要 単位数
		所要単位数	必須科目名(単位)	必須科目	選択必須 科目	合計単位	
美術学科		20単位	美術論 4単位 工芸論 4単位 アートプランニング 4単位 計12単位必須	50単位		50単位	124単位 以上
建築学科					34単位	10単位	

学 科	系列科目	総合教育科目	共通専門科目	専門科目	自由選択	卒業所要 単位数
		所要単位数	必須科目名(単位)	必須科目 所要単位数	所要単位数	
デザイン学科		20単位	デザイン学概論 2単位 アートプランニング 4単位 マネジメント研究 2単位 計8単位必須	62単位	34単位	124単位 以上

学 科	系列科目	総合教育科目	共通専門科目	専門科目		自由選択	卒業所要 単位数	
		所要単位数	必須科目名(単位)	必須科目	選択必須 科目	合計単位		所要単位数
文芸学科		20単位 (レポートの書き方(2単位) 英語Ⅰ(2単位) 英語Ⅱ(2単位)含む)	文芸概論 4単位	52単位	12単位	64単位	36単位	124単位 以上

学 科	系列科目	総合教育科目	共通専門科目	専門科目	自由選択	卒業所要 単位数
		所要単位数	全学科必須科目名(単位)	必須科目 所要単位数	所要単位数	
写真学科		20単位	写真概論 4単位 アートプランニング 4単位 マネジメント研究 2単位 計10単位	60単位	34単位	124単位 以上

学 科	系列科目	総合教育科目	共通専門科目	専門科目	自由選択	卒業所要 単位数
		所要単位数	必須科目名(単位)	必須科目 所要単位数	所要単位数	
音楽学科		20単位	20世紀の音楽 4単位 アートプランニング 4単位 マネジメント研究 2単位 計10単位必須	★68単位 72単位	26単位 22単位	124単位 以上

学 科・コース	系列科目	総合教育科目	専門科目		自由選択	卒業所要 単位数
		所要単位数	専門必須科目 所要単位数	専門選択必須科目 所要単位数 ※2	所要単位数 ※1	
初等芸術教育学科		20単位	20単位	64単位以上	20単位以上	124単位以上

※1 初等芸術教育学科の自由選択は、※2の専門選択必須科目から履修することをおすすめします。

- 1) 卒業所要単位124単位の内、面接単位30単位以上の修得が必要です。
- 2) 自由選択は専門科目もしくは共通専門科目が対象で総合教育科目は含まれません。

★ポピュラー和声法のみで卒業する場合

3. 履修上の注意事項

(1) 総合教育科目

全学科 20 単位が卒業所要単位になります。ほとんどの科目が 1 年次配当に設定されていますが、1 年次に 20 単位のすべてを修得する必要はありません。1 年次から 4 年次の間に計画的に履修してください。

教職課程を履修する場合、必須となる科目があるので、後述する資格課程欄を参照してください。

(2) 共通専門科目

学科・コースにより卒業所要単位数が異なります。共通専門科目表の卒業所要単位数欄で確認してください。

2 年次配当の「アートプランニング」は美術学科・デザイン学科・写真学科・音楽学科、3 年次配当の「マネジメント研究」はデザイン学科・写真学科・音楽学科の必須科目です。

また、学科ごとに必須科目を設定していますので、配当年次に進級した際は、必ず履修してください。なお、教職課程を履修する場合、必須となる科目があるので、後述する資格課程欄を参照してください。

注) 編入学生の場合は、科目に対して単位認定をしていないので、各学科必須科目を履修する必要があります。

(3) 専門科目

専門科目はほとんどが必須科目となりますので、配当年次に進級した際は、必ず履修してください。なお、選択必須科目は美術学科、建築学科、文芸学科、写真学科、音楽学科及び初等芸術教育学科に設定されています。

同じ学科でも、他コースの科目は履修できません。在籍する学科・コースの専門科目表に記載された科目以外を履修した場合は履修エラーとして処理されます。

3 年次編入学生は、1 年次、及び 2 年次配当の、入学時に単位認定された専門科目をあらためて履修することはできません。

また、卒業制作については単位修得に最短でも 1 年はかかりますので注意してください。(音楽学科、デザイン学科を除く)

(4) 自由選択

専門科目の余剰単位および共通専門科目群より履修・修得してください。

総合教育科目や資格課程科目は、自由選択科目には計上されませんので注意してください。

(5) 履修条件

全学科、進級するための条件がありません。したがって、毎年在学していれば年次は自動的に上がります。

ただし、取得する順番が決められた科目(取得順位科目)については、計画的に履修しなければ修業年限で修了できなくなる可能性があります。

※各学科・コースにおける科目履修上の注意事項、進級要件や履修順序、資格取得課程科目等の詳細については、本案内では割愛・省略しています。

各授業科目の詳細に関しては、当該年度の『学生便覧』をご確認ください。

Ⅱ. 総合教育科目 (正科生・特修生)

1. 総合教育科目表

配当 年次	必須 区分	授業 形態	科 目 コード	科 目 名	単位数			備 考
					面接	通信	計	
1 年 次	選	講義	0101	現代美術論		4	4	
		講義	0102	日本国憲法		2	2	
		講義	0103	人権問題論		2	2	
		講義	0104	文化人類学		4	4	
		講義	0105	哲学		4	4	
		講義	0106	保健体育概論		2	2	
		講義	0107	図学		4	4	
		講義	0108	心理学		4	4	
		講義	0109	映画と文学		4	4	
		講義	0110	法と芸術		2	2	
	択	講義	0111	教職概論		2	2	
		講義	0117	レポートの書き方	1	1	2	文芸学科必須
		演習	0112	英語Ⅰ	2		2	文芸学科必須
		演習	0113	スポーツ研究	2		2	
2 年 次	選 択	講義	5201	生涯学習論		2	2	
		講義	5206	文化史		4	4	
		講義	5207	美術考古学		4	4	
		講義	5208	民俗学		4	4	
		演習	0114	情報機器の操作		2	2	
		演習	0115	英語Ⅱ	2		2	文芸学科必須
合 計					7	51	58	
卒業所要単位数 全学科					20単位以上			

Ⅲ. 共通専門科目 (正科生)

1. 共通専門科目表

配当年次	必須区分	授業形態	科目コード	科目名	単位数			備考
					面接	通信	計	
1 年 次	選	講義	0201	デザイン学概論		2	2	デザイン学科必須
		講義	0202	建築デザイン論		4	4	建築学科必須
		講義	0204	写真概論		4	4	写真学科必須
		講義	0205	工芸論		4	4	美術学科必須
		講義	0206	造形原理		4	4	
		講義	0207	色彩学		4	4	
	択	講義	0208	デザイン史		4	4	
		講義	0209	ビデオ映像制作論(※1)		4	4	
		講義	0217	映像概論		4	4	
		講義	0218	マンガ文化論		2	2	
		講義	0219	演劇概論		4	4	
		講義	0220	文芸概論		4	4	文芸学科必須
2 年 次	選	講義	0210	美術論		4	4	美術学科必須
		講義	0211	都市デザイン概論		4	4	
		講義	0212	日本美術史		4	4	学芸員課程選択必須
		講義	0213	西洋美術史		4	4	
	択	講義	0221	放送概論		4	4	
		講義	0223	音と芸術		4	4	
		講義	0250	アートプランニング(※2)(※3)	2	2	4	美術学科・デザイン学科・写真学科・音楽学科必須・1科目4単位必須
講義	0251	アートプランニング(※2)(※3)	2	2	4			
3 年 次	選	講義	0224	20世紀の音楽		4	4	音楽学科必須
		講義	0225	大衆芸能論		4	4	
		講義	0226	芸術情報論		4	4	
		講義	0227	比較文化論		4	4	学芸員課程選択必須
		講義	0228	映画史		4	4	
	択	演習	0215	マネージメント研究(※3)	2		2	デザイン学科・写真学科必須
		演習	0261	マネージメント研究(※3)	2		2	音楽学科必須
		講義	0216	建築論		4	4	建築学科必須
合 計					8	100	108	

※1 デザイン学科の学生は、専門科目として開設しているため、自由選択科目として履修できません。

※2 「アートプランニング」は科目コード【0250】と【0251】両クラス履修可能(科目等履修生を除く。P.59参照)。ただし、面接と通信単位数は同一コードで修得すること。また、両方取得しても卒業所要単位数に算入できるものは1科目4単位のみとなります。

※3 アートプランニングとマネージメント研究は関連しています。それぞれ2クラス開講されています。科目コード0250は0215とリンクして0251は0261とリンクしています。例えば音楽学科の場合は0261が必須ですので0251を履修してください。

共通専門科目表

配当年次	授業形態	科目コード	科目名	単位数			備考
				面接	通信	計	
1 年 次	実習	1005	デッサン	2	2	4	
	演習	1006	製図	2		2	
	実習	1001	平面基礎	2	4	6	
	実習	1002	立体基礎(※1)	2	4	6	
	演習	1007	絵画表現研究(マテリアル研究)	2		2	
	演習	1021	版画表現研究	2		2	
	実習	1611	金工基礎実習	2	2	4	
	実習	1612	金工実習Ⅰ	2	2	4	
	実習	1631	陶芸基礎実習	2	2	4	
	実習	1651	繊維基礎実習	2	2	4	
	演習	1681	工芸演習	2		2	
	実習	1102	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅰ	2	2	4	
	実習	1104	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅲ	2	2	4	
	演習	1505	フォトアートⅠ	2	2	4	
	実習	1518	スチール撮影Ⅰ	2	2	4	
	実習	1682	ガラス工芸基礎実習	2	2	4	
2 年 次	実習	1053	人物画(洋画)	2	2	4	
	実習	1054	人物画(日本画)	2	2	4	
	実習	1055	静物画モノクローム表現(洋画)	2	2	4	
	実習	1056	静物画(日本画)	2	2	4	
	実習	1025	版画	2	2	4	
	実習	1613	金工実習Ⅱ	2	2	4	
	実習	1632	陶器実習Ⅰ	2	2	4	
	実習	1041	染織実習Ⅰ	2	2	4	
	実習	1108	ビジュアルデザイン実習Ⅱ	2	2	4	
	実習	1520	スチール撮影Ⅱ	2	2	4	
	実習	1683	ガラス工芸実習	2	2	4	
合 計				52	48	100	

※1 デザイン学科の学生は、専門科目として開設しているため、自由選択科目として履修できません。

1) 面接単位を含む科目のため、単位取得にはスクーリング授業料が必要です。

2) 自身の学科の科目は履修できません。

3) 専門科目と配当年次が異なる学科があります。

4) 上記科目のスクーリングには定員が設けられており、当該学科の学生を優先する為、受講できない場合があります。

5) 「ガラス工芸基礎実習」「ガラス工芸実習」はスクーリング定員枠が僅少の為、履修登録が多数の場合は登録に制限をかける場合もあります。

IV. 専門科目 (正科生)

1. 美術学科

(1) 専門科目表

履修科目は当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

配当 年次	必須 区分	授業 形態	科 目 コード	科 目 名	単位数			備 考
					面接	通信	計	
1 年次	必須 科目	演習	1007	絵画表現研究 (マテリアル研究)	2		2	
			1008	デッサン研究	2	2	4	
		実習 講義	1001	平面基礎	2	4	6	
			1051	表現と方法	2		2	
2 年次	必須 科目	講義	1003	絵画概論		2	2	
			1004	美術特論		4	4	
	選択 必須	実 習	1053	人物画 (洋画)	2	2	4	
			1054	人物画 (日本画)	2	2	4	
			1055	静物モノクローム表現 (洋画)	2	2	4	
			1056	静物画 (日本画)	2	2	4	
1057	フィールドワーク (洋画)		2		2			
1058	日本画材料実践研究 (日本画)		2		2			
3 年次	選択 必須	実 習	1059	静物彩色表現 (洋画)	2	2	4	
			1060	人物風景画 (日本画)	2	2	4	
	1061		写実絵画表現 (洋画)	2		2		
	1062		古画研究制作 (日本画)	2		2		
	1063		制作研究 I (洋画)	2	2	4		
選択 必須	1064	静物・自由制作 (日本画)	2	2	4			
4 年次	選択 必須	実 習	1065	制作研究 II (洋画)	2	2	4	
			1066	自由制作 (日本画)	2	2	4	
	1067		アートプロジェクト実習 (洋画)	2		2		
	1068		卒業制作のためのプランニング (日本画)	2		2		
	選択 必須		1096	卒業制作 (洋画)	4		4	
1097		卒業制作 (日本画)	4		4			
2年次	選択	実習	1041	染織実習 I	2	2	4	
卒業所要単位数					28	22	50	

2. デザイン学科

(1) 専門科目表

履修科目は、当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

配当年次	必須区分	授業形態	科目コード	科目名	単位数			備考
					面接	通信	計	
1年次	必須	講義	1101	ビジュアルデザイン論		4	4	
			1102	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅰ	2	2	4	
			1103	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅱ	2	2	4	
			1104	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅲ	2	2	4	
	選択	実習	1116	情報デザイン1	2		2	
			1117	デジタルイラストレーション1	2		2	
			1002	立体基礎	2	4	6	
	講義	0209	ビデオ映像制作論		4	4		
2年次	必須	講義	1105	メディアデザイン論		4	4	
		演習	1106	製図	2		2	
		実習	1107	ビジュアルデザイン実習Ⅰ	2	2	4	
			1108	ビジュアルデザイン実習Ⅱ	2	2	4	
			1109	ビジュアルデザイン実習Ⅲ	2	2	4	
	選択		1118	情報デザイン2	2	2	4	
			1119	デジタルイラストレーション2	2		2	
		演習	1131	インテリアプロダクト演習1	2		2	
			1132	インテリアプロダクト演習2	2		2	
			1133	インテリアプロダクト演習3	2		2	
3年次	必須	講義	1110	マーケティング論		4	4	
		演習	1111	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2	2	4	
		実習	1112	ビジュアルデザイン実習Ⅳ	2	2	4	
			1113	ビジュアルデザイン実習Ⅴ	2	2	4	
4年次	必須	講義	1114	アドバタイジング		4	4	
		演習	1115	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2	2	4	
		卒業	1199	卒業制作	4		4	
卒業所要単位数					26	36	62	

3. 建築学科

(1) 専門科目表

履修科目は当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

配当 年次	必須 区分	授業 形態	科目 コード	科 目 名	建築士試験 指定科目 ※2※3	単位数			備 考
						面接※1	通信	計	
1 年次	必須	講義	1216	建築一般構造	⑥		4	4	
		実習	1205	建築設計実習Ⅰ	①	2	2	4	
	選 択	講 義	1201	建築史Ⅰ	②		2	2	
			1202	住居論	②		4	4	
			1203	インテリアデザイン論	⑩		4	4	
		演 習	1241	建築造形演習	⑩	2		2	
			1251	インテリアデザイン演習Ⅰ	⑩	2		2	
			1252	CAD演習Ⅰ	⑩	2		2	
講義	0202	建築デザイン論	②		4	4			
2 年次	必 須	講 義	1207	建築構造力学	⑤		4	4	
			1242	材料	⑦		2	2	
			1243	施工	⑧		2	2	
			1244	建築環境工学	③		2	2	
			1255	建築法規	⑨		4	4	
	演習	1210	建築構造演習	⑤	2		2		
	選 択 必 須	実 習	1213	建築設計実習Ⅱ	①	2	2	4	1科目4単位選択
			1261	環境計画実習Ⅱ	①	2	2	4	
	選 択	講 義	1206	建築史Ⅱ	②		2	2	
			1208	都市設計論	②		4	4	
			1264	ランドスケープ論	⑩		4	4	
			1265	造園学			4	4	
		演 習	1211	建築演習Ⅰ	⑩	2		2	
			1253	インテリアデザイン演習Ⅱ	⑩	2		2	
			1254	CAD演習Ⅱ	⑩	2		2	
1131			インテリアプロダクト演習1		2		2		
		1132	インテリアプロダクト演習2		2		2		
		1133	インテリアプロダクト演習3		2		2		
3 年次	必須	講義	1215	建築設備	④		4	4	
	選 択 必 須	実 習	1219	建築設計実習Ⅲ	①	2	2	4	1科目4単位選択
			1262	環境計画実習Ⅲ	①	2	2	4	
	選 択	演 習	1217	建築演習Ⅱ	⑩	2		2	
			1220	測量演習	⑩	2		2	
	講義	0216	建築論	⑩		4	4		
4 年次	選 択 必 須	実 習	1222	建築設計実習Ⅳ	①	2		2	1科目4単位選択
			1263	環境計画実習Ⅳ	①	2		2	
	選 択	実 習	1223	建築設計実習Ⅴ	①	2		2	
	必 須	卒 業	1299	卒業設計・論文		4		4	
卒業所要単位						14※1	30	44	

※1 卒業には、面接単位を必須科目の他に16単位以上取得すること(合計30単位以上。共通専門科目からの取得でも可)

※2 二級建築士試験の受験資格を得るには、必須科目の含めて建築士試験指定科目②の科目を2単位以上取得すること

※3 一級建築士試験の受験資格を得るには、必須科目の含めて建築士試験指定科目②の科目を7単位以上取得すること

(建築士試験指定科目②、⑩の取得単位数によって、資格取得に必要な実務年数が変わります。P85・P86参照)

4. 写真学科

(1) 専門科目表

履修科目は当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

配当年次	必須区分	授業形態	科目コード	科目名	単位数			備考
					面接	通信	計	
1年次	必須	講義	1501	写真史		4	4	
		講義	1502	写真科学	2	2	4	
		講義	1503	写真情報論		2	2	
		講義	1504	写真映像論		2	2	
		演習	1505	フォトアートⅠ	2	2	4	
	実習	1506	写真基礎実習Ⅰ	2	2	4		
選択必須	実習	1518	スチール撮影Ⅰ	2	2	4	1科目4単以上選択	
	実習	1519	ムービー撮影Ⅰ	2	2	4		
2年次	必須	講義	1508	写真照明論		2	2	
		演習	1509	フォトアートⅡ	2	2	4	
		実習	1510	写真基礎実習Ⅱ	2	2	4	
	選択必須	実習	1520	スチール撮影Ⅱ	2	2	4	1科目以上4単位選択
		実習	1521	ムービー撮影Ⅱ	2	2	4	
選択	講義	1522	水中の世界	2		2		
3年次	必須	講義	1512	作家論		2	2	
	選択必須	演習	1513	フォトアートⅢ	2	2	4	2科目8単位以上選択
		実習	1523	テクニカルフォト(技術)	2	2	4	
		実習	1524	水中撮影(技術)	2	2	4	
	選択	演習	1525	アートプロデュース	2		2	
		演習	1526	クリエイティブスタジオワーク	2		2	
演習		1527	クリエイティブネイチャーワーク	2		2		
4年次	選択必須	演習	1515	フォトアートⅣ	2	2	4	2科目8単位以上選択
		実習	1528	テクニカルフォト(表現)	2	2	4	
		実習	1529	水中撮影(表現)	2	2	4	
		演習	1530	素材と表現	2		2	
	必須	通年	1599	卒業制作	4		4	
卒業所要単位数					26	34	60	

5. 文芸学科

(1) 専門科目表

履修科目は当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

配当 年次	必須 区分	授業 形態	科目 コード	科目名	単位数			備考
					面接	通信	計	
1 年 次	必 須	講義	1301	詩論	2	2	4	
		講義	1302	文章論	2	2	4	
		講義	1303	言語芸術論		4	4	
		演習	1325	文芸演習 I	1	1	2	
	選 択 必 須	講義	1304	シナリオ創作論		4	4	
		講義	1320	キャラクター原論		4	4	
講義		1324	ジャーナリズム入門		4	4		
2 年 次	必 須	講義	1305	小説論	2	2	4	
		講義	1316	日本文学の世界 I		4	4	
		講義	1326	ノンフィクション論	2	2	4	
		講義	1327	ライトノベル論	2	2	4	
		講義	1328	SF 論	2	2	4	
		講義	1329	児童文学論	2	2	4	
	選 択 必 須	講義	1306	芸術批評論		4	4	
		講義	1314	国語概論		4	4	
		講義	1318	漢文学		4	4	
3 年 次	必 須	演習	1330	文芸演習 II	2		2	
		講義	1317	日本文学の世界 II		4	4	
		演習	1311	言語表現演習 I	2		2	
	選 択 必 須	講義	1309	戯曲論		4	4	
		講義	1315	国語史		4	4	
		演習	1319	書道		2	2	
4年次	必 須	演習	1313	言語表現演習 II	2		2	
		卒業	1399	卒業論文・制作	4		4	
合 計					25	57	86	
卒業所要単位数							64	

6. 音楽学科

(1) 専門科目表

履修科目は、当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

配当 年次	必須 区分	授業 形態	科目 コード	科目名	単位数			備 考	
					面接	通信	計		
1 年 次	必 須	講義	1901	音楽制作特論	2	2	4		
		講義	1902	人間と音楽		4	4		
		講義	1903	情報音楽論	2	2	4		
		講義	1904	西洋音楽の歴史と理論	1	1	2		
		講義	1905	日本音楽の歴史と理論	1	1	2		
		演習	1906	情報音楽基礎演習	2	2	4		
		演習	1908	課題研究1		2	2		
		演習	1909	ソルフェージュ		2	2		
		演習	1910	楽典		2	2		
		実習	1911	作品制作1	2	2	4		
	選 択 必 須	演習	1907	和声法1	2	2	4		1科目 必須
		演習	1960	ポピュラー和声法1	2		2	※2 ポピュラーコース必須	
	選 択	講義	1970	音楽プロデュース論	2		2		
		演習	1980	和声法入門	2		2	※5 和声法入門・ ポピュラー和声法入門選択	
演習		1981	和声法基礎	2		2			
演習		1971	ミュージック・ソフトウェア・オペレーション1	2		2			
実習		1984	ギター奏法1						
実習		1989	ゲームサウンドデザイン1	2		2			
2 年 次	必 須	講義	1912	サウンドスケープ論	2	2	4		
		講義	1913	コンピュータと音楽		4	4		
		講義	1914	ポピュラー音楽論		2	2		
		演習	1916	音楽データベース1	2	2	4		
		演習	1917	課題研究2		2	2		
		実習	1918	作品制作2	2	2	4		
	選 択 必 須	演習	1915	和声法2	2	2	4		1科目 必須
		演習	1961	ポピュラー和声法2	2		2	※2 ポピュラーコース必須	
	選 択	演習	1972	ミュージック・ソフトウェア・オペレーション2	2		2		
		実習	1985	ギター奏法2	2		2		
1990			ゲームサウンドデザイン2	2		2			

3 年 次	必 須	演習	1919	音楽データベース2	2	2	4	
		演習	1920	課題研究3		2	2	
	選 択 必 須	実習	1941	作品制作3 クラシック	2	2	4	※3 1科目4単位必須
		実習	1942	作品制作3 コンピュータ	2	2	4	
		実習	1943	作品制作3 ポピュラー	2	2	4	
	選 択	実習	1982	サウンドプロダクション	2		2	
		実習	1983	ソングライティング	2		2	
		実習	1986	ギター奏法3	2		2	
			1991	ゲームサウンドデザイン3	2		2	
	演習	1992	楽器製作演習1	2		2		
4 年 次	選 択 必 須	卒業	1997	卒業作品・発表(クラシック)	2	2	4	※4 1科目のみ4単位必須
		卒業	1998	卒業作品・発表(コンピュータ)	2	2	4	
		卒業	1999	卒業作品・発表(ポピュラー)	2	2	4	
	選 択	演習	1995	プロフェッショナル・サウンドプロダクション	2		2	
		演習	1996	プロフェッショナル・ソングライティング	2		2	
		実習	1987	ギター奏法4	2		2	
		演習	1993	楽器製作演習2	2		2	
		実習	1988	フィルムスコアリング	2		2	
	卒業所要単位数					26	46	72

※2ポピュラー和声法を選択した場合、音楽学科の専門科目卒業所要単位数は68単位になります。

※3「作品制作3」で選択した領域を「卒業作品・発表」でも選択することになりますので、慎重に選んでください(複数領域選択可能)。

※4「卒業作品・発表」は、1領域のみの履修となります(複数領域選択不可)。

※5和声法入門：〔和声法入門〕〔ポピュラー和声法入門〕どちらかを選択してください。

7. 初等芸術教育学科

(1) 専門科目表

履修科目は当該年次および下級年次の配当科目を履修してください。上級年次の配当科目は履修できません。

専門必須科目

配当 年次	授業 形態	科 目 コード	科 目 名	単位数			教職必須科目		備 考
				面接	通信	計	幼稚園	小学校	
1 年次	講義	2003	初等教育論		4	4			
	講義	2004	芸術療法論		4	4			
	講義	2002	教職概論(初等)		2	2	○	○	
	演習	2100	体験演習	1	1	2			
2年次	演習	2101	演習Ⅰ	2		2			
3年次	演習	2102	演習Ⅱ	2		2			
4年次	卒業	2099	卒業研究・論文	3	1	4			
合 計				8	12	20			
卒業所要単位(20単位)									

自由選択科目

配当 年次	授業 形態	科 目 コード	科 目 名	単位数			備 考		
				面接	通信	計			
1年次	実習	1009	デッサン	1	1	2	☆		
2 年次	実技	2118	ピアノ1(初等)	2		2			
	講義	2079	絵本の表現	2	2	4			
	講義	2121	絵本の読み聞かせ	1		1			
	演習	1927	器楽合奏法	1	1	2	☆		
3 年次	演習	2086	心理療法演習	2		2			
	演習	2084	絵画・造形療法演習	2		2			
	演習	2192	音楽療法演習	2		2			
	実技	2119	ピアノ2(初等)	2		2			
	講義	2078	日本文学の世界		4	4	☆		
4年次	実技	2120	ピアノ3(初等)	2		2			
合 計				17	8	25			
専門選択必須科目と合わせて卒業所要単位(20単位)									

専門選択必須科目

配当 年次	授業 形態	科目 コード	科目名	単位数			教職必須科目		備考	
				面接	通信	計	幼稚園	小学校		
1 年 次	講義	2060	家庭教育論		2	2				
	講義	2061	絵画・造形療法論		2	2				
	講義	2190	音楽療法論Ⅰ		2	2				
	講義	2105	臨床心理学概論Ⅰ		2	2				
	講義	2010	国語Ⅰ		2	2		○		
	講義	2011	算数		2	2		○		
	講義	2012	生活		2	2		○		
	講義	2013	音楽Ⅰ	2		2		○		
	講義	2014	図画工作Ⅰ	2		2		○		
	講義	2016	社会		2	2		○		
	講義	2187	教育課程総論(初等)		2	2	○			
	講義	2015	体育		2	2		○		
	講義	2201	幼児と健康	2		2	○			
	講義	2202	幼児と人間関係	2		2	○			
	講義	2203	幼児と環境	2		2	○			
	講義	2204	幼児と言葉	2		2	○			
	講義	2205	幼児と音楽表現Ⅰ	2		2	○			
	講義	2207	幼児と造形表現Ⅰ	2		2	○			
		実習	1009	デッサン	1	1	2			☆
	2 年 次	講義	2005	教育学概論(初等)		2	2	○	○	
講義		2006	教育心理学(初等)		2	2	○	○		
講義		2029	教育方法論(初等)		2	2	○	○		
講義		2184	人権教育論(初等)		2	2	○	○		
講義		2185	特別支援教育理論(初等)		2	2	○	○		
講義		2122	こども文化論		2	2				
講義		2191	音楽療法論Ⅱ		2	2				
講義		2106	臨床心理学概論Ⅱ		2	2				
講義		2071	発達心理学		2	2				
講義		2021	家庭		2	2		○		
講義		2189	英語(初等)		2	2		○		
講義		2186	小学校教育課程総論		2	2		○		
講義		2022	音楽科指導法Ⅰ(初等)	2		2		○		
講義		2023	図画工作科指導法Ⅰ	2		2		○		
講義		2024	体育科指導法	1	1	2		○		
講義		2025	国語科指導法Ⅰ(初等)	1	1	2		○		
講義		2196	生徒指導と進路指導論(初等)		2	2		○		
演習		2165	保育内容指導法総論	1	1	2	○			
演習		2166	保育内容(健康)		1	1	○			
演習		2167	保育内容(人間関係)	1		1	○			
演習	2193	保育内容(環境)		1	1	○				
演習	2172	芸術表現演習Ⅰ(造形)	1		1	○				

(『学生便覧2026』抜粋 ※詳細については当該年度の『学生便覧』を御確認ください。)

配当年次	授業形態	科目コード	科目名	単位数			教職必須科目		備考
				面接	通信	計	幼稚園	小学校	
2 年 次	演習	2173	芸術表現演習Ⅱ(音楽)	1		1	○		
	演習	2174	芸術表現演習Ⅲ(身体)	1		1	○		
	講義	2073	言語障害論		2	2			
	講義	2017	理科		2	2		○	
	講義	2128	国語Ⅱ(書写)		2	2		○	
	講義	2019	音楽Ⅱ		2	2		○	1科目2単位選択必須
	講義	2020	図画工作Ⅱ		2	2			
	講義	2028	道徳指導法(初等)		2	2		○	
	実技	2118	ピアノ1(初等)	2		2			
	講義	2079	絵本の表現	2	2	4			
	講義	2121	絵本の読み聞かせ	1		1			
	演習	1927	器楽合奏法	1	1	2			☆
	3 年 次	講義	2199	社会科指導法	1	1	2		○
講義		2197	算数科指導法	1	1	2		○	
講義		2039	理科指導法	1	1	2		○	
講義		2198	生活科指導法	1	1	2		○	
演習		2177	保育内容(言葉)	1		1	○		
演習		2178	保育内容(表現)	1		1	○		
実習		2114	こどもふれあい体験実習	1	1	2	○	○	
実習		2116	介護等体験	1		1		○	
講義		2048	幼児理解の理論と方法(幼児)	1	1	2	○		
講義		2044	教育相談(初等)		2	2	○	○	
講義		2045	教育社会学(初等)		2	2	○	○	
講義		2035	音楽科指導法Ⅱ(初等)		2	2		○	
講義		2036	図画工作科指導法Ⅱ		2	2		○	
講義		2131	国語科指導法Ⅱ(初等・書写)		2	2		○	
講義		2041	家庭科指導法	1	1	2		○	
講義		2195	英語科指導法	1	1	2		○	
講義		2043	特別活動指導法(初等)		2	2		○	
演習		2200	教育とICT活用の理論と方法	1		1		○	
講義		2206	幼児と音楽表現Ⅱ		2	2	○		1科目2単位選択必須
講義		2208	幼児と造形表現Ⅱ		2	2			
演習		2086	心理療法演習	2		2			
演習		2084	絵画・造形療法演習	2		2			
演習		2192	音楽療法演習	2		2			
実技	2119	ピアノ2(初等)	2		2				
講義	2078	日本文学の世界		4	4				

(『学生便覧2026』抜粋 ※詳細については当該年度の『学生便覧』を御確認ください。)

配当 年次	授業 形態	科 目 コード	科 目 名	単位数			教職必須科目		備 考
				面接	通信	計	幼稚園	小学校	
4 年 次	講義	2188	総合的な学習の時間の指導法(初等)		2	2		○	
	実習	2051	教育実習Ⅰ(指導・初等)	1		1	○	○	事前事後指導
	実習	2125	教育実習Ⅱ(初等)	2		2	○	○	現場実習
	実習	2117	教育実習Ⅲ(初等)	2		2	○	○	現場実習
	演習	2050	教職実践演習(初等)	2		2	○	○	教育実習終了後に受講
	実技	2120	ピアノ3(初等)	2		2			
合 計				63	97	160			
卒業所要単位(64単位)									

1) 各免許状の取得に必要な単位数は以下の通りです。

幼稚園教免：必要単位51単位	小学校教免：必要単位84単位	両免：必要単位112単位
----------------	----------------	--------------

- 2) 教員免許状の取得を希望する方は必ず「P.74 資格課程Ⅱ . 初等芸術教育学科」を確認してください。
- 3) 一部不開講となる科目もありますのでご了承ください。
- 4) 「☆」印の科目は、不開講になっています。
- 5) 卒業所要単位124単位の内、面接単位30単位以上の修得が必要です。
- 6) 専門選択必須科目において「卒業所要単位」64単位以上修得した場合、余剰単位については「自由選択科目」の単位として読み替えることができます。
- 7) こどもふれあい体験実習は11月～12月の間に附属幼稚園で1日実習を行った後、1月に「こどもふれあい体験実習事後指導」スクーリングの受講が必要です。附属幼稚園での実習の日程は8月頃学習支援システムでお知らせします。
- 8) 「演習Ⅰ」のみ「-2」を先に受講しても構いません。
- 9) 「演習Ⅱ」は、「卒業研究論文」に向けた指導が含まれますので「卒業研究論文」に取り組む前に受講する事が望ましい。
- 10) 卒業研究、論文は専門必須科目、専門選択必須科目より60単位以上修得していないと履修できません。(保育士課程は除く) 単位修得には、最短でも1年かかります。学習計画を立てる際は注意してください。